

マテリアリティの解決④

地球温暖化・気候変動への対応

「地球温暖化・気候変動」は、全国約7万社のお客さまの未来に影響を及ぼす、重要な社会課題であると認識し、本業支援や金融支援により、その解決に取り組んでいます。

お客さまを取り巻く外部環境や経営課題の変化に対応し、事業の持続可能性を高めるための支援を行っています。

【お客さま支援の方針】



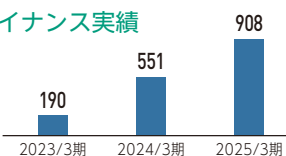
お客さまを含むステークホルダーの皆さまとは、“SPEED”の視点*に基づき、建設的な対話と相互の理解に努めます。

※商工中金が独自に定めた、組織・役職員における、サステナビリティに対する取り組みの基本的な視点

■ サステナブルファイナンス

サステナブルファイナンスを通じ、お客さまの持続可能な取り組みをサポートしています。中小企業が取り組む多様なテーマに対応するため、サステナブルファイナンスの拡充を図っています。

サステナブルファイナンス実績 (期末残高、億円)



主なインパクト領域	環境			社会			経済	
	カーボンニュートラル	サーキュラーエコノミー	海洋・淡水	社会インフラ	DE&I	雇用確保	労働生産性	地域経済
ファイナンス種類	PIF	ポジティブ・インパクト・ファイナンス (PIF) ▶▶ p.49						
資金使途特定	グリーンローン		ブルーローン ▶▶ p.50	ソーシャルローン				
SLL	GXファイナンス ▶▶ p.50						DXファイナンス ▶▶ p.41	

■ 地域金融機関との連携

地域経済の活性化と雇用創出に貢献していくため、サステナブルファイナンス業務においても地域金融機関との業務提携・協力を行っています。地域金融機関とともに、地域の中小企業の金融ニーズに対してそれぞれの機能や特性を活かしながら相乗効果を発揮し、中小企業の価値向上に貢献していきます。

業務連携・協力金融機関 全国13機関

一連携・協力金融機関の皆さまー (2025年3月末時点)

北海道・東北：北洋銀行、仙台銀行
 関東：埼玉縣信用金庫、横浜信用金庫
 中部：北伊勢上野信用金庫、桑名三重信用金庫、大光銀行、碧海信用金庫
 関西：京都中央信用金庫
 中国・四国：愛媛銀行、高知銀行
 九州・沖縄：熊本第一信用金庫、南日本銀行

TOPIC

地域金融機関とのサステナブルファイナンス業務における提携・協力

商工中金は、2024年3月に、熊本第一信用金庫と「サステナブルファイナンス業務における連携・協力に関する覚書」を締結しました。この提携により、定例的な意見交換や、約100名の職員に対し勉強会を通じてサステナブルファイナンスのノウハウの共有を行い、2024年度はポジティブ・インパクト・ファイナンスを適用した融資を3件実施しました。

■ ポジティブ・インパクト・ファイナンス

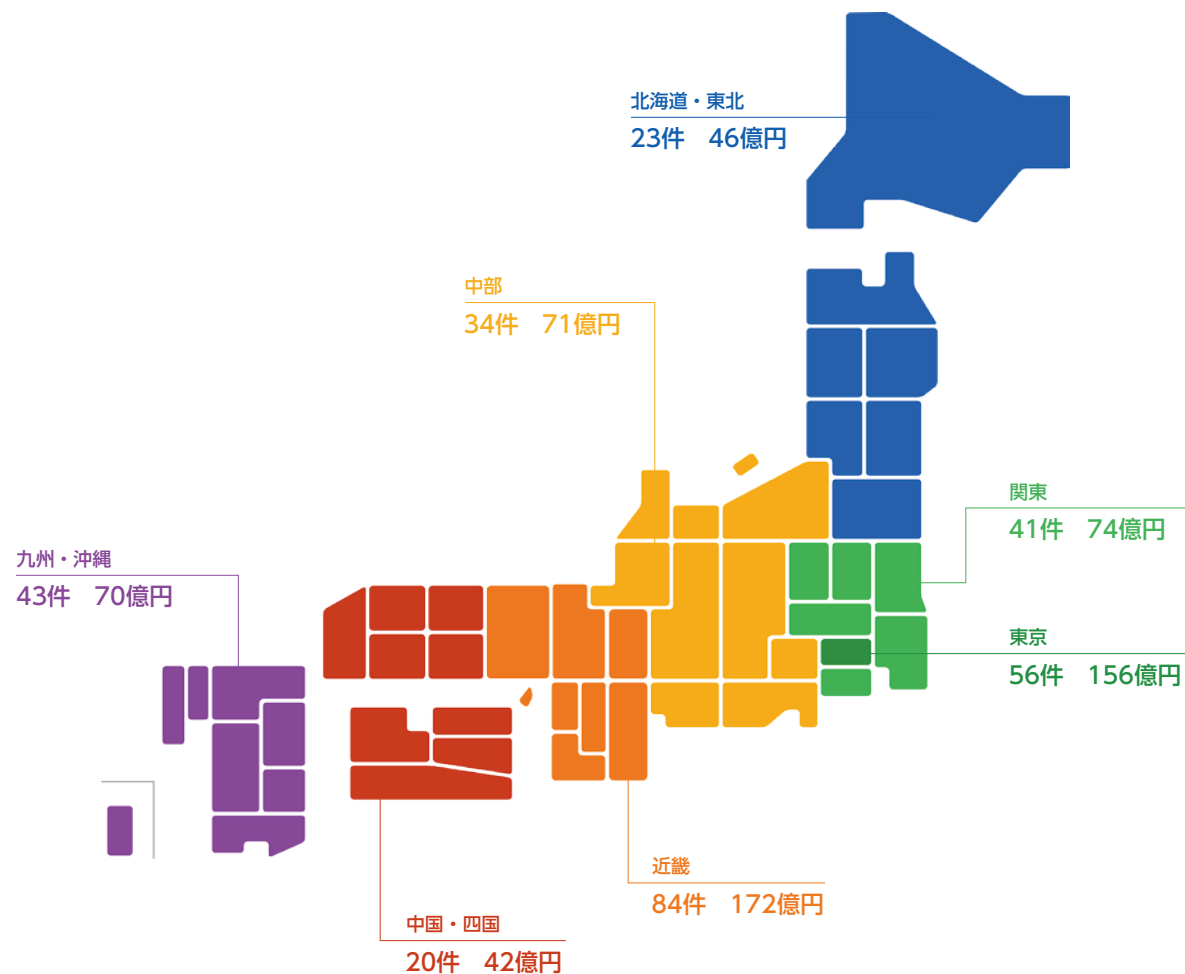
ポジティブ・インパクト・ファイナンス (PIF) を通じてお客さまとKPIを設定し、これらのKPI達成に向けた取り組みを支援することで、日本全国で環境・社会へのポジティブなインパクトの創出に取り組んでいます。幅広い業種および地域のお客さまに「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」をご利用いただき、2025年3月末時点でPIFを累計301件融資し、3,400件以上のKPIを設定しています。

【PIFを通じて設定した主なKPI (SDGs項目ごとの設定例)】

	KPI設定数	KPI設定例
7 再生可能エネルギーを拡大する	202	太陽光発電設備導入、LED比率増加、バッテリーフォークリフト比率増加
8 働きがいも経済成長も	1,163	幸せデザインサーベイの活用、新拠点/新事業の売上増加、地域雇用創出、時間外労働時間の削減
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	296	歩留まり率改善、半導体精密加工事業への新規参入・売上増加、バイオガス発電事業への参入

	KPI設定数	KPI設定例
10 人や国の不平等をなくそう	373	女性従業員比率増加、Pマーク等公的認証取得、人権DDに関する勉強会を実施
12 つくる責任 つかう責任	335	廃棄物発生量の削減、エコ商品の売上増加、食物残渣を再利用、廃棄物受入量増加
13 気候変動に具体的な対策を	259	CO ₂ 排出量の可視化・削減、BCP計画策定、ISO14001取得

■ 地域別のPIF融資件数・残高



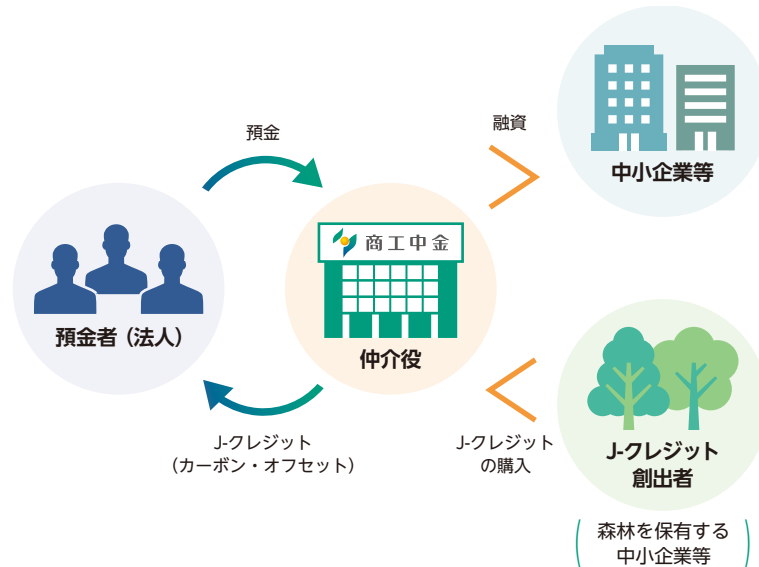
環境や社会へ配慮したお客さまの事業活動を積極的に支援することを通じ、持続可能な社会の実現に向けて先進的な役割を果たすことを目指しています。

気候変動と密接な関係のある自然資本についても、あわせて対応を進めていきます。

■ New! 国内初！J-クレジット預金

森林由来のJ-クレジットを活用したカーボン・オフセットを付与する法人向け定期預金「J-クレジット預金」の取扱いを、2024年12月より開始しています。これまでに計200億円をお預入れいただき、2,000トン分のカーボン・オフセットを付与する予定です。

森林由来のJ-クレジットとは、間伐などの森林の適切な管理を行うことで得られるCO₂吸収量をクレジットとして国が認証したものであり、これを購入・活用することで、経済的負担を伴う森林の適切な管理を支援します。本預金により、持続可能な環境保全の促進に寄与しています。



■ New! ブルーローン

持続可能な海洋経済、海洋・淡水領域の環境改善の取組みを支援するために、2024年12月よりブルーローンの取扱いを開始しました。地球環境の安定性はすべての事業活動の基盤であるという考えから、金融サービスを通じた環境保全に取り組んでいます。



サポート事例

株式会社小島組（愛知県）は、愛知県を拠点に浚渫工事等の海洋土木工事を手掛けています。商工中金は、洋上風力発電のケーブルを海底に敷設する船に搭載される水中ドローンなどの専用設備の導入を、ブルーローンを活用してサポートしました。この設備の導入により、洋上風力発電の建設を後押しし、再生可能エネルギーの創出に貢献します。

■ New! GXファイナンス

「サステナビリティ・リンク・ローン」として、脱炭素経営を支援する「GXファイナンス」の取扱いを2024年10月より開始しました。お客さまが脱炭素経営に取り組むにあたり、目標値となるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲットを設定し、その達成に向けたサポートをしています。



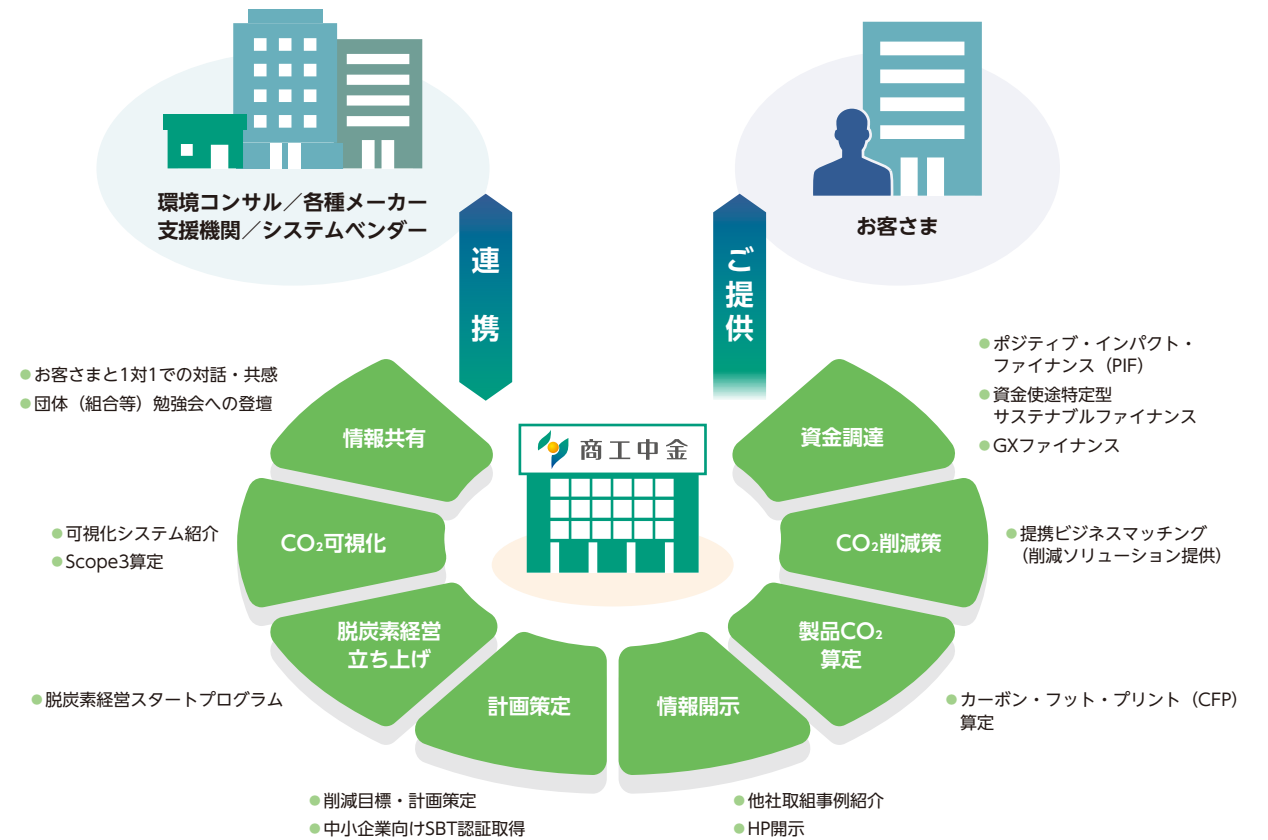
サポート事例

株式会社ケイ・ティー（福岡県）は、九州や関西で飲料や生活雑貨を運送しています。商工中金は、企業価値向上に必要な資金をGXファイナンスで融資するとともに、2030年に向けたCO₂排出量の削減目標の策定、中小企業版SBT認証の申請手続き等をサポートするなど、脱炭素化を伴走支援しました。

■ 脱炭素経営支援

お客さまの中長期的な企業価値向上と持続可能な社会の実現のため、中小企業のカーボンニュートラル促進に向けた取組みを包括的にサポートしています。

お客さまのCO₂排出量の可視化や削減目標・計画の策定支援、SBT認証取得やカーボン・フット・プリント（CFP）算定のサポート、さらには再生可能エネルギーや省エネルギーに関連したビジネスマッチング、サステナブルファイナンスの提供を行っています。



サポート事例

脱炭素経営に向けた計画策定をサポート

株式会社プログレス（山梨県）は、主に自動車部品向けアルミダイカストを製造しています。同社は、社会やサプライチェーンからの求めに対応するため、2030年に向けた脱炭素計画策定を計画しました。商工中金は、CO₂排出量の可視化と計画策定に必要なデータを整備し、2030年の削減目標設定と達成に向けたロードマップ策定をサポート。CO₂排出量が特に多い業務プロセスを特定し、効果的なCO₂排出量削減策の立案を行いました。

▶▶ 事例の詳細はこちらの動画をご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=u8IE5OUZWUE>



【商工中金担当者の想い】 大森支店 小田 冨祐

カーボンニュートラルの取組みは同業他社との差別化や強みの強化につながると考えました。CO₂排出量の削減目標とロードマップの策定、カーボン・フット・プリントの導入まで幅広くサポートしました。